

「悩みのつぼ」

貪欲、前進欲で身が持ちません



相談者 主婦・専門職・学生 50歳



経済学者 金子勝

相談者は自分の恵まれた立場をもっと自覚して、自己利益のためだけでなく、何らかの社会的なミッション（使命感）を持って生きてほしいと思います。事業をおこなうなら、社会的に役に立つ事業をしましょう。女性はまだ社会的に不利に扱われて

相談者の悩みは、相当にせいたくなく悩みです。50歳で子育てをしながら、正社員として働き、しかも大学で勉強ができる。そんな恵まれた境遇にある女性はごく少数です。女性の場合、M字形雇用と言われ、正社員となっても出産で退社を迫られ、復帰しても非正社員にしかねないのが一般的だからです。



爽快、明快、愉快の回答に、毎週ヒッジョーに、楽しみにしています。でも個人的には深刻な悩みですので、どうか、よろしくお願いいたします。仕事、学生、子育ての三つの

に編入。仕事をしながらの通学に、ひーひーいいながら生活しています。どう考えても破綻しそうな生活ですが、まだまだやりたいことが山ほどあるし、次々に出てくるのです。大学院にも行きたいと思っています。

仕事をしながらの通学をベースにした会社を起せな

ければいけないのですが、次々「やりたいことが出てくる病」は治らず、このごろはそんな自分、落ち込んでいます。

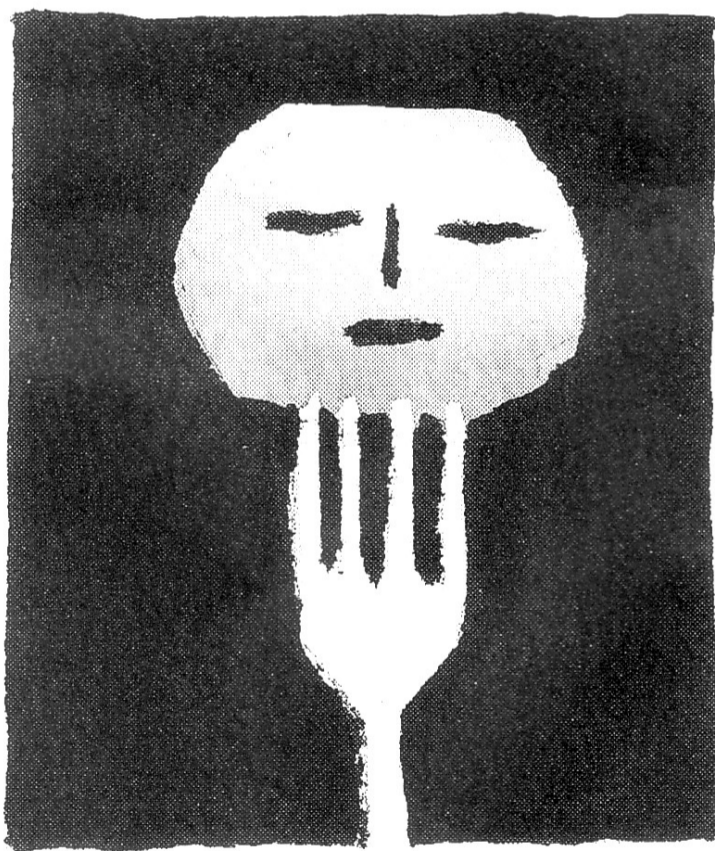
「ゆったり、じっくり、おっとり」という「3R-i」にある「貪欲、前進欲」が、肉食おぼさの2欲に苦しむ「肉食おぼさん」は、どうしようぶつに考えられないでしょうか。

明確なミッションづくり優先順位を

相談者は「『貪欲、前進欲』の2欲に苦しんでいます」と述べていますが、この2欲は、人間が向上心をもって生きるためのエネルギーですから、とても大事です。

次々「やりたいことが出てくる病」が治らず、思いつきかひどいと思うのは、優先順位をつ

ける基準が自分の中ではっきりしないからだと思います。明確なミッションを持てれば、それにしたがって大事だと思うことから序列化され、おのずと整理されてくるはず。また、身体的限界はありますが、ミッションを持つと、多少の忙しさは苦にならなくなります。



もう一つ、当面の問題は卒業論文です。やりたいことに優先順位をつけるのは少し違う問題も潜んでいます。細部にこそ真理が宿るとよく言いますが、相談者はディテール（細部）を詰めることの大事さに気づいていないかもしれません。